

平成28年5月18日 与論中学校2年生 奥都城参拝



発行所

大牟田・荒尾地区与論会  
発行人・町 謙二  
TEL 0944-31-3144

第116号

平成28年

# 秋季大祭のお知らせ

今年の夏も猛暑でした。ブラジルでのリオ・オリンピックでは日本は金メダル12個の大活躍で、4年後の東京オリンピックを期待しましょう。

さて、左記のとおり秋季大祭を行いますので、たくさんの方々の参加をお願いいたします。

一、とき 9月18日（日）午前10時～12時

一、ところ 与洲奥都城前広場

## 注意事項

お神酒を用意しております  
『飲酒運転』はくれぐれもしないようにお願い致します

## 与論会の動き

自 平成28年4月  
至 平成28年8月

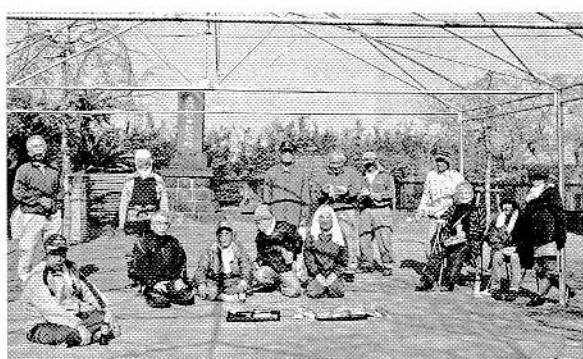
平成28年	4月2日	春季祭典準備設営 役員全員
5月8日	3日	春季大祭 500人集う
5月18日	奥都城清掃 17・18・19地区担当	与論中学生修学旅行 奥都城を参拝
6月10日	与論員会 第40回与論会総会・大牟田夏祭り総踊り・ヨロンバナウル少年の船歓迎打合せ。	役員会 第40回与論会定期総会開催 地区長・役員出席
6月26日	奥都城清掃 1・2地区担当(雨で順延の為) 奥都城清掃 12・20地区担当	大牟田夏祭り 1万人の総踊りに出席
7月10日	奥都城清掃 7・8・9地区担当	ヨロンバナウル少年の船来牟 清風荘にて交流会
7月23日	大牟田夏祭り 10時～12時	奥都城お盆参り
8月3日	奥都城清掃 7・8・9地区担当	大牟田与論文化交流訪問団出発 3泊4日
8月13日	奥都城清掃 7・8・9地区担当	
8月19日	奥都城清掃 7・8・9地区担当	
8月30日	奥都城清掃 7・8・9地区担当	
8月31日	奥都城清掃 7・8・9地区担当	
9月1日	奥都城清掃 7・8・9地区担当	
9月12日	奥都城清掃 7・8・9地区担当	

▼次の方がお亡くなりになりました  
謹んで哀悼の意を表し心からご冥福をお祈り申し上げます

## 奥都城清掃



5月8日



3月27日



7月10日



6月26日

# 500人が先祖を慰靈

**文化交流で地元出身者の与論高卒業も**

## 大牟田・荒尾奥都城大祭盛大に

大牟田・荒尾地区与論会（町謙二会長）の与洲奥都城春季大祭が3日、大牟田市昭和町の奥都城前広場で開催され、与論島（鹿児島県大島郡与論町）出身者やその子孫ら約500人が集い、先祖を慰靈した。

与論島出身者は明治時代後半から主に三池炭鉱の荷役作業に励み、日本産業近代化や地域発展を支えた。

郷土遙拝などに続いて、駿馬天満宮の神職により神事が行われた。町会長は、大牟田出身で与論高校に入学した男子生徒について、「3月、立派に卒業して東京で就職することができた。これからお世話になつた皆さんに恩返ししたいと言つてはいる」と報告。同会顧問の堀円治さん（昨年1月に95歳で逝去）の呼び掛けで十数年前に始めた大牟田与論教育文化交流訪問団を今年も8月に派遣。40人の参加を呼び掛けるなどを説明した。

大橋克己県議会議員が来賓挨拶。野田国義参議院議員のメッセー

式典終了後、第2回カラオケ大会を開催。左記の方々に出演いただき楽しいひと時を皆さんで楽しんでいただきました。

出場者 曲目

与那嶺森一様（たましいの島・与論情話）  
西脇美苗子様（ちえ子よされ）

猿渡忠一郎様（怪傑ハリマオ・諏訪小学校校歌）  
川上 英子様（女の港町）

月原 雅春様（兄弟船）  
堀 正男様（おふくろさん）

田中オトメ様（夜霧の慕情）

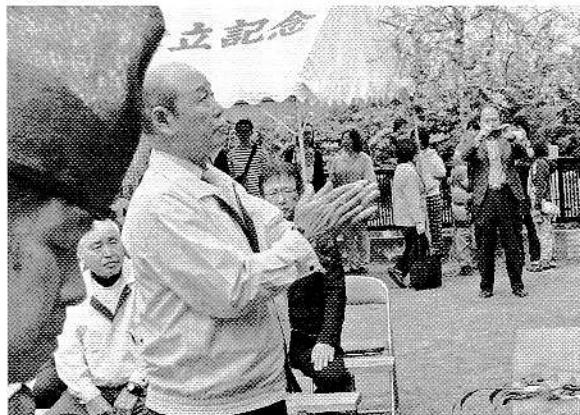
審査の結果、次の2名の方が表彰されました。

最優秀賞 堀 正男様、  
特別賞 与那嶺森一様

来年も予定しておりますので皆様の参加をお待ちしております。大祭当日は午後から雨の予報でしたが、曇り空で経過し滞り無く終えることができました。

また、最後まで（会場設備・テント撤収等）ご協力いただいた方々、式典の始まる前から演奏していただき最後には唐船ドライで締めていただいた三線会の皆様方にはあつくお礼申し上げます。今回も皆様よりたくさんのご芳志をいたしております、本誌

## 平成28年 春季大祭



## 平成28年 春季大祭



## 平成28年 春季大祭



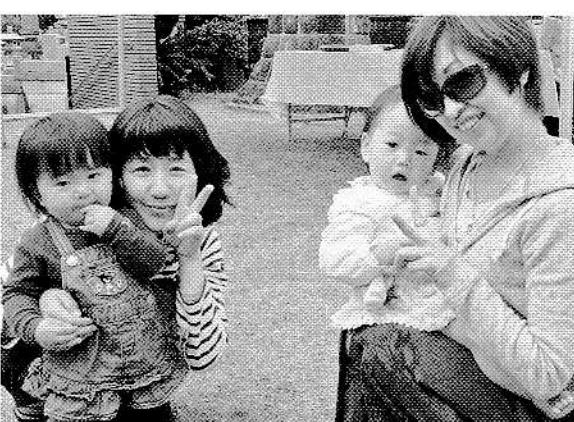
## 平成28年 春季大祭



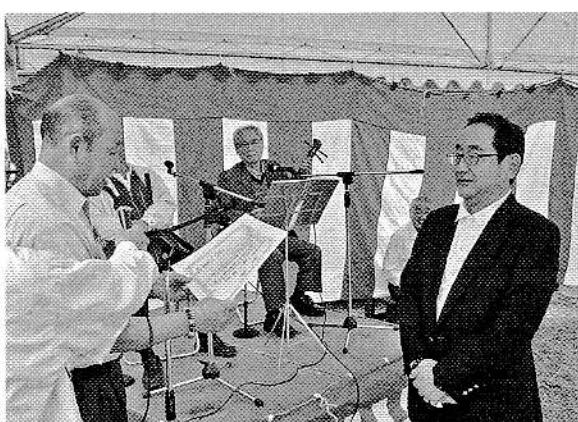
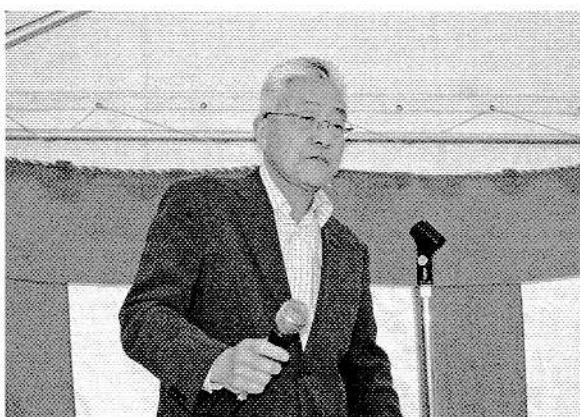
## 平成28年 春季大祭



## 平成28年 春季大祭



## 平成28年 春季大祭



# 郷土ゆかりの地へ

## 与論中修学旅行 世界遺産など見学

鹿児島県大島郡与論町（与論島）の与論中学校2年生らが修学旅行で18日、与論出身者やその子孫が多く住む大牟田、荒尾市を訪れた。先祖や親戚らが眠る納骨堂「与洲奥都城」に参拝した後に世界文化遺産となつた三池港や万田坑などを見学した。

与論中一行は2年生59人と引率の西哲也校長ら教職員5人。16日に船で出発し沖縄・那覇から空路で福岡入り。17日には長崎市で平和について学んだ。奥都城では大牟田・荒尾地区与論会メンバーが歓迎した。

町謙二会長は、三池炭鉱の石炭の荷役作業に劣悪な労働条件や待遇の下で与論出身者が尽力した苦難の歴史や10年目を迎えた与論と大牟田教育交流訪問団の取り組みなどを説明。「三日三晩不眠不休の重労働にも愚痴を言わず働いた与論の大先輩たち。勤勉で忍耐強く先祖を敬う『誠の心』の結晶」とも語った。

生徒代表の徳田敦君は、「与論のみんなが明るく笑顔で生活できるのは大牟田に移住された先輩方のおかげです。見学でより一層、歴史の理解を深めます」、西校長は「2回目の（修学旅行での）訪問。与論と大牟田のことを学ぶ機会を設けていただき感謝します」などと謝辞を述べた。

一行は旧三井港倉庫部や三川坑跡をバス車中から見学。三池港開門や与論出身者が暮らした新港町社宅跡地を訪れた後に荒尾市

の万田坑を見学。グリーンランドでも楽しみ、夜は福岡市のヤフオクドームでプロ野球観戦。最終日の19日は太宰府天満宮を参拝した後、帰途に就く予定。

5月19日 有明新報



## 与論中学生修学旅行

